

Web日記拡大版

平成28年2月10日(水)

高校生助手派遣プログラム



大学等への進学先や就職先が内定した生徒が、自分の出身小学校や近隣の小学校等で高校生助手として活動することによって、ボランティア精神や勤労観、社会性等を養うことを目指すことを趣旨にした「平成27年度小学校への高校生助手派遣プログラム」に応募した高校生3名が、2月1日～2月12日までの9日間、各学級に入り、子どもたちの活動を支援しました。



調理実習でアドバイス(左・中)。教科書を正しく読めているか確認(右)

3名の高校生は、「コミュニケーション能力の向上に努めたい。先生方の姿を見て『働くとはどういうことか』をしっかりと学びたい。責任感をもってお役に立ちたい」、「授業の補助をしたり、たくさんの児童との交流を通して、個々をどう捉え、どのように接していくのか学びたい。どんな活動にも積極的に取り組みたい。たくさんのことを得たい」、「6年間お世話になった城南小学校へ恩返しするとともに、先生方へのサポートをし、また子どもたちとふれあい、コミュニケーション能力の向上に努めたい。また、相手や状況に応じた話し方や礼儀などを学びたい」と、それぞれしっかりとめあてをもって取り組みました。



家庭学習ノートへのまるつけをしました。1ページ毎に丁寧に花丸をし、次への意欲につながるようなコメントを書き添えました。



「ほう。ボールがゴールに吸い込まれていくようだ」(左)。シュート競争で1位、「やったあ」(中)。よりよい攻守についてアドバイス(右)



今日楽しかったこと聞いてと声を掛けられて(左)。4年生の教室で子どもたちと一緒に給食(中・右)